

令和3年新年



小平町議会議長
藤田 貢

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございませう。

輝かしい令和3年の新春をこうして町民の皆様と共に迎えることができましたことを心よりお喜び申し上げます。

皆様には日頃より本議会に対し温かいご理解とご協力をお寄せいただき、厚くお礼申し上げます。

顧みますと昨年は、国の緊急事態宣言が出されるなど、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、国民生活や経済活動に甚大な影響をもたらし、いまだ終息の目途は見通せないどころか、極めて警戒すべき状況が続いています。

昨年9月に発足した新内閣においては、新型コロナウィルス感染症への対処などとともに、「活力ある地方を造る」と基本方針に掲げており、地方を取り巻く諸課題の解決に向けて、これまで以上に行政・産業・住民が一体となった「まちづくり」の推進が要求される時代となっています。

私も議会といたしましては、地域のことは地域が責任を持って決める「地域主権」の理念を基本に、広く町民の皆さんの真の要望と地域の実情を的確に把握し、町政に反映させるために全力を挙げて取り組むと同時に、将来に向かって最良な「小平町」のあるべき姿の羅針盤となるべく、議員一同、鋭意努力して参る所存でありますので、今後とも貴重なご意見・ご提言を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が町民の皆様方にとって、実り多き年となりますことをご心より祈念いたしまして、町議会を代表して新年のご挨拶とさせていただきます。



姉妹都市
東京都小平市長

小林 正 則

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございませう。

小平町民の皆様におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

小平町の皆様とは、昭和53年7月に同名の自治体のよしみで、姉妹都市の締結をして以来、双方の小学生が夏休みを利用しての相互訪問をしている少年少女交歓交流事業をはじめ、小平市民まつりでの小平町の特産物の販売や、米穀商組合などを通してのななつぼしの販売など、教育、文化、産業など幅広い分野で広く交流を図っています。

昨年は、新型コロナウイルス

感染症対策の関係で、多くの催し物やイベントが中止となりました。小平町の皆様との交流事業も中止となり、残念で仕方ありません。一刻も早く交流が開けるよう望んでおります。

さて小平市では、令和3年度から12年間の方向性を示す第4次長期総合計画が始まります。

今後間違いなく迎えることとなる人口減少期に備え、人口構造に見合ったまちづくりが必要となります。そのためには多くの課題がありますが、これまで市民の皆様と築き上げてまいりました「参加」と「協働」、そして「市民自治」をさらに推進し、誰もが地域の中で役割や生きがいを持ち、担い手や支え手となつて、地域の課題解決に取り組むまちづくりにつなげてまいりたいと考えております。

小平町の皆様とは今後とも、姉妹都市として教育・文化・産業などの交流を通じて、絆を深めてまいりたいと存じます。

結びに、小平町のますますのご発展と、町民の皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。